

2022年4月8日

〈ニュースリリース〉

サントリーホールディングス株式会社  
サントリー食品インターナショナル株式会社

とみぐすく  
「沖縄豊見城配送センター」が本格稼働

- 清涼飲料専用倉庫を新設し、沖縄県の物流体制をさらに強化 —
  - DX施策導入により自動化・省力化 —
  - 「おきなわSDGsパートナー」に認証 —



この高解像度画像は <https://www.suntory.co.jp/news/index.html> に掲載しています。

サントリーホールディングス(株)は新しい物流拠点「<sup>とみぐすく</sup>沖縄豊見城配送センター」を4月から本格稼働しました。

人手不足、働き方改革、環境意識の高まりなど、物流をとりまく環境は大きく変化しており、持続可能な物流への取り組みは、重要な課題となっています。サントリーグループはこれまでも、安全・安心な物流の実現に加え、先端技術を活用し、物流業務の自動化・省力化による労働負荷軽減、作業効率化、環境負荷の低減などを実現する「スマートロジスティクス」に取り組んできました。

「沖縄豊見城配送センター」の稼働により、沖縄県での商品供給の一層の安定化を図るほか、これまで複数箇所に分散していた倉庫機能を本倉庫に統合・集約することで、在庫配置や倉庫間移動を効率化し、環境負荷低減を推進します。

本センターではデジタルトランスフォーメーション（DX）施策として、倉庫管理システムとバース\*予約システムを情報連携させることにより、倉庫内業務の効率化、待機時間削減を通じたトラック乗務員の負担軽減や環境負荷低減を図っています。

※トラックを駐車して荷物の積み下ろしをするスペース

また、本センターは「おきなわSDGsパートナー」の認証を受けています。本制度は、沖縄県がさまざまなステークホルダーとのパートナーシップのもと、SDGsの普及啓発に取り組むため、活動に意欲的な企業・団体を認証するものです。倉庫内業務の効率化、環境負荷低減を目的とした上記のDX施策や、安全品質の向上を目的としたフォークリフト操作のAI判定システム（ニュースリリースNo.13925参照）の導入などが評価され、認証に至りました。

サントリーグループは、今後も持続可能な物流の実現に向けて、物流最適化・環境負荷低減・働き方改革の推進などのさらなる取り組みを、パートナー企業・地域行政との連携を深めながら進めていきます。

## ●配送センター概要

名称	沖縄豊見城配送センター
所在地	沖縄県豊見城市字与根西原50番110
延床面積	約2,700坪（約8,900m <sup>2</sup> ・2階建倉庫の2階）
竣工	2022年3月（4月本格稼働）
取り扱い商品	清涼飲料各種
業務委託先	サントリーロジスティクス（株）

▼サントリーのエコ活「輸送」

<https://www.suntory.co.jp/eco/teigen/logistics/>

▽本件に関するお客様からの問い合わせ先

サントリーお客様センター <https://www.suntory.co.jp/customer/>

以 上

## 水と生きる SUNTORY

---

「水と生きる」は、私たちがお客様や社会と交わす約束です。  
貴重な水を守り、水を育む自然環境を次世代につなぐこと。商品やサービスを通じて人々の心を潤すこと。  
水のように柔軟に力強く新たな価値創造に挑戦すること。  
これらの約束を果たすため、私たちは様々な活動に取り組んでいます。